

「ドングリを描く」

これからはドングリの季節です。ドングリ(団栗)は正しい定義はありませんが、一般に「ブナ科」の樹木の果実(または種子)をさします。ブナ科の樹木は日本全国に分布していて、気候帯や標高に適応して常緑樹から落葉樹まであり、変化に富んでいます。帽子(殻斗)をかぶった姿がかわいらしいのと、細工してコマなどを作れるので、子どもたちにも人気があります。ドングリを水彩で描くコツは、そのツヤです。ここはチョークの粉を使うとうまくいきます。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)



「いろいろなドングリ」(すべてブナ科) 上段左から解説

- ・ シラカシ (白欐) *Quercus myrsinifolia*; 帽子(殻斗)が同心円模様になっているのが特徴。
- ・ マテバシイ (馬刀葉椎) *Lithocarpus edulis*; 常緑樹になる大型のドングリです。
- ・ ミズナラ (水榿) *Quercus crispula*; あくぬきをすると食用になります。
- ・ コナラ (小欐) *Quercus serrata*; 一番普通に見られるドングリの代表種です。
- ・ スダジイ *Castanopsis sieboldii*; 普通のドングリとちがって、袋状の皮に入っています。
- ・ クヌギ (栲) *Quercus acutissima*; 顔を描いたり、コマを作ったり、大人気のドングリ。
- ・ ナラガシワ (檜柏) *Quercus aliena*; 材からは良質の木炭を作れます。
- ・ シリブリガシ (尻深欐) *Lithocarpus glaber*; 黒光りする、ちょっとカッコいいドングリ。